

第3講 人骨から生老病死を探る 長岡朋人

自然人類学とはなにか
 生物考古学という新領域
 古人骨の研究におけるフィールドワーク
 古人骨を鑑定する
 骨病変を診断する
 古人骨が語る歴史的事件
 古代人の病気との闘い
 古人骨を研究する倫理

第4講 砂漠で生きるラクダにたよる人間の生活

坂田 隆

砂漠はどういうところか
 砂漠で生きのびるためのやりかた
 砂漠のほ乳類代表—ラクダとハムスター
 ゴールデンハムスター
 ハムスターの適応戦略
 西に進出したラクダと南に進出したラクダ
 ラクダと水—水を節約するしくみ
 木の葉を食べて生きぬくラクダ
 ヒトは砂漠にむいているか？
 ヒトの体から出ていく水—尿や汗，体温調節，腎臓から尿に出ていく水
 文化による水の節約—ヒトが作る穴，それは住居と衣服
 砂漠での暮らしをささえるラクダ
 ラクダの利用法—降雨量とラクダ飼育の関係
 おわりに—ラクダを多面的に活用するという文化

トピック3 南米アンデスにおけるラクダ科動物
 鳥塚あゆち

トピック4 誰かの視点から歴史を見るか

—スペイン領アメリカにおける支配者
 と被支配者，征服者と被征服者
 井上幸孝

第5講 モノ・カネ・人そして病原体の移動

—国際経済と疫病の世界史 永島 剛
 「コロンブス交換」とは
 「マルサスの罠」の要因としての疫病
 黒死病
 貿易と防疫
 現代のベスト
 国際社会の課題

トピック5 環境と経営 福原康司

トピック6 中国の宗教思想と自然 土屋昌明

第6講 自然と人間のかかわりあいの狭間で

—芸術作品の中で表現された自然

根岸徹郎

いろいろな「自然」

人間と自然の関係

自然との接し方

自然の上に立つ人間

万物の秘密である「青い鳥」を求める人間

自然の中にいる人間

自然と芸術の表現

霧の向こうの世界

(澤井 直)

[専修大学出版局，〒101-0051 東京都千代田区
 神田神保町3-10-3 (株)専大センチュリー内，
 TEL. 03(3263)4230，2017年3月，新書判，280
 頁，900円+税]

鷹見家文書研究会 著

『蘭学家老 鷹見泉石の来翰を読む—政治篇—』

本書は古河藩家老・鷹見泉石宛に送られた書翰
 の中で政治に関するもの108点の翻刻・解説であ

る(蘭学に関するものは2013年に刊行された『蘭
 学家老鷹見泉石の来翰を読む—蘭学篇—』があ

る)。鷹見泉石は、譜代大名であり老中でもあった土井利位を支えた土井家の重臣であり、政治関連の来翰に限っても藩政だけではなく幕府や支藩に関するものと幅広い。大きめの判型を活かし、それぞれの資料について、それぞれの紹介ページの上段に影印、中段に翻刻、下段に解説を掲載し、非常に活用しやすい誌面構成となっており、鷹見泉石の研究に大いに資するものといえよう。

内容

- 一、幕政関係 12
- 二、藩内関係 72
- 三、支藩一族関係 138
- 四、利位以外から泉石宛書簡 144
- 五、その他 168

(松村 紀明)

[Kプランニング, 〒306-0023 茨城県古河市本町 4-7-1-1-305, TEL. 090 (5764) 7651, 2017年6月, A4判, 190頁, 7,000円+税]